

令和7年度 定期作況報告

(8月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業部(岩見沢市)

I 気象概況

7月下旬の平均気温は平年より3.2℃高く、降水量は平年の137%、降水日数は平年より0.7日多く、日照時間は平年の117%であり、高温・多雨に経過した。
 8月上旬の平均気温は平年より1.2℃高く、降水量は平年の33%、降水日数は平年より0.8日多く、日照時間は平年の88%であり、高温・少雨に経過した。
 8月中旬の平均気温は平年より2.5℃高く、降水量は平年の42%、降水日数は平年より1.7日少なく、日照時間は平年の147%であり、高温・少雨・多照に経過した。
 7月下旬から8月中旬までの平均気温は平年より2.3℃高く、降水量は平年の58%、降水日数は0.2日少なく、日照時間は平年の116%であった。

気象表 (アメダス岩見沢)

月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
7月	下旬	26.2	23.0	3.2	31.5	27.9	3.6	22.4	19.4	3.0	46.5	34.0	12.5	4.0	3.3	0.7	74.3	63.7	10.6
8月	上旬	24.5	23.3	1.2	29.2	28.2	1.0	21.0	19.5	1.5	19.0	57.1	△ 38.1	5.0	4.2	0.8	48.9	55.4	△ 6.5
	中旬	24.2	21.7	2.5	29.4	26.3	3.1	19.0	18.2	0.8	33.0	77.7	△ 44.7	3.0	4.7	△ 1.7	67.9	46.3	21.6
平均(合計)		25.0	22.7	2.3	30.0	27.5	2.6	20.8	19.0	1.8	98.5	168.8	△ 70.3	12.0	12.2	△ 0.2	191.1	165.4	25.7

注1) 気象データはアメダス岩見沢を使用。
 注2) 平年値は過去10年間の平均値。
 注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。
 注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント。
 注5) △は低・少を示す。

II 作 況

5月20日 平年並
 事由:播種は平年と同日の4月17日に行った。播種後は低温・寡照に経過し、出芽期は平年より4～5日遅かった。出芽後は高温で経過した。移植は平年と同日の5月20日に行った。
 移植時の苗形質は、草丈は平年よりやや長く、主稈葉数は平年よりやや多く、第1葉鞘高はで平年並であった。100本あたりの地上部乾物重および苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は平年を下回った。
 以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 平年並
 事由:移植直後は低温で経過したことから、葉の黄化や下位葉の葉先枯れが生じたが、その後は平年並から高温に経過し、生育は回復した。
 6月20日における茎数は平年並から少なかったが、草丈は平年より長く、主稈葉数は平年並であった。
 以上により、現在の作況は、平年並である。

7月20日 やや不良
 事由:6月下旬から7月中旬まで極めて高温で経過したことから、幼穂形成期は平年より2日、止葉期は平年より7日から8日、出穂期は平年より9日早かった。
 草丈は平年並であったが、止葉葉数は平年より0.5-0.6枚少なく、茎数は平年より72-128本/m²少なかった。
 以上により、現在の作況は、やや不良である。

8月20日 やや不良
 事由: 7月下旬から8月中旬にかけて高温に経過し、生育は前進している。稈長は56.2～59.0cmで平年より短く、穂長は15.7～16.0cmで平年よりやや短かく、穂数は543～609本/m²と平年より少なかった。
 以上により、現在の作況は、やや不良である。

品種名 苗種		ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.17	4.17	0	4.17	4.17	0
出芽期	(月.日)	4.27	4.22	5	4.26	4.22	4
移植期	(月.日)	5.20	5.20	0	5.20	5.20	0
幼穂形成期	(月.日)	6.27	6.29	△ 2	6.27	6.29	△ 2
止葉期	(月.日)	7.08	7.15	△ 7	7.08	7.16	△ 8
出穂期	(月.日)	7.16	7.25	△ 9	7.16	7.25	△ 9
成熟期	(月.日)		9.09			9.09	
穂揃日数	(日)	6.0	6.2	△ 0.2	6.0	6.2	△ 0.2
登熟日数	(日)		46			46	
生育日数	(日)		145			145	
草丈(cm)	移植時	11.6	11.0	0.6	12.5	10.8	1.7
茎数(本/個体)	移植時	1.2	1.0	0.2	1.4	1.0	0.4
主稈葉数(枚)	移植時	3.5	3.2	0.3	3.8	3.4	0.4
第1葉鞘高(cm)	移植時	3.1	2.8	0.3	2.5	2.6	△ 0.0
地上部乾物重(g/100本)	移植時	1.84	2.37	△ 0.53	2.24	2.40	△ 0.16
地上部乾物重/草丈	移植時	0.16	0.22	△ 0.06	0.18	0.22	△ 0.04
草丈	6月20日	30.1	27.6	2.5	30.0	27.5	2.5
(cm)	7月20日	72.9	71.1	1.8	74.0	71.1	2.9
茎数	6月20日	321	321	0	309	382	△ 73
(本/㎡)	7月20日	572	644	△ 72	640	768	△ 128
主稈	6月20日	7.0	7.1	△ 0.1	7.5	7.4	0.1
葉数	7月20日	9.8	10.2	△ 0.4	10.0	10.6	△ 0.6
(枚)	止葉	9.8	10.3	△ 0.5	10.0	10.6	△ 0.6
稈長	(cm)	59.0	66.2	△ 7.2	56.2	64.4	△ 8.2
穂長	(cm)	15.7	16.2	△ 0.5	16.0	16.7	△ 0.7
穂数	(本/㎡)	543	608	△ 65	609	716	△ 107
一穂粒数	(粒/本)		51.2			41.7	
粒数	(千粒/㎡)		31.1			29.9	
稈実歩合	(%)		93.8			93.9	
稈実粒数	(千粒/㎡)		29.2			28.1	
登熟歩合	(%)		87.9			85.7	
登熟粒数	(千粒/㎡)		27.3			25.6	
粒摺歩合	(%)		78.5			74.8	
屑米歩合	(%)		4.7			8.0	
精玄米千粒重	(g)		23.0			23.4	
わら重	(kg/a)		60.1			60.8	
精粒重	(kg/a)		74.8			72.7	
精玄米重	(kg/a)		58.7			54.4	
屑米重	(kg/a)		2.9			4.7	
収量平年比	(%)		100			100	
検査等級			2上			2上	

注1) 平年値は前7ヶ年中、令和6年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a
 播種量 : 中苗紙筒=160cc/箱
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/㎡ 3～4本植え
 移植方法 : 手植え
 反復 : 2

注3) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた粒を比重1.06の食塩水によって調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

令和7年7月下旬～8月中旬までの概況は次のとおりである。

7月

下旬：平均気温は平年より3.8℃高かった。降水量は平年並で、日照時間は平年比125%と多く、高温・多照であった。

8月

上旬：平均気温平年より1.7℃高かった。降水量は平年の45%と少なく、日照時間は平年並であった。高温・少雨であった。

中旬：平均気温は平年より2.6℃高かった。降水量は平年の34%と少なく、日照時間は平年の168%であり、高温、少雨、多照であった。

以上、1ヶ月を通じ、平均気温は平年より2.7℃高く、降水量は平年の51%、日照時間は平年の129%であり、高温、少雨、多照に経過した。

気 象 表 道総研中央農試(アメダス長沼)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
7月	下旬	26.1	22.3	3.8	31.5	27.0	4.5	22.5	19.2	3.3	30.5	30.2	0.3	3.0	3.2	△0.2	72.5	57.8	14.7
8月	上旬	24.5	22.8	1.7	29.2	27.4	1.8	21.4	19.4	2.0	24.0	53.3	△29.3	5.0	3.8	1.2	48.3	49.3	△1.0
	中旬	24.2	21.6	2.6	29.7	26.0	3.7	19.2	18.3	0.9	24.0	71.0	△47.0	4.0	4.2	△0.2	74.9	44.5	30.4
平均(合計)		24.9	22.2	2.7	30.1	26.8	3.3	21.0	19.0	2.0	78.5	154.5	△76.0	12.0	11.2	0.8	195.7	151.6	44.1

- 注1) 気象データはアメダス長沼による。
- 注2) 平年値は過去10年間の平均値。
- 注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。
- 注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント
- 注5) △は減を示す。

II 作況

1. 秋まき小麦(令和6年播種)

令和6年10月20日作況：やや不良

事由：播種期は平年より4日遅い9月24日であった。出芽期は平年より3日遅い9月30日となった。播種後の降雨により土壌がクラスト状になったため、出芽の揃いに時間を要した。10月20日現在で草丈は平年より短く、茎数は平年より少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

令和7年5月20日作況：やや不良

事由：越冬前後の茎数は平年より少なかった。融雪期は平年並で、積雪期間は111日で平年より2日短かった。雪腐病による冬損程度は平年より少なかった。5月20日現在の草丈は平年より短く、茎数は平年より少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

令和7年6月20日作況：やや不良

事由：出穂期は6月1日で、平年並であった。6月20日現在の草丈は平年よりやや短く、茎数は平年より少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

令和7年7月20日作況：やや不良

事由：高温により登熟が早く進み、成熟期は平年より6日早い7月10日であった。成熟期における稈長は平年より短く、穂長は平年並で、穂数は平年より少なかった。倒伏は見られなかった。

以上により、現在の作況はやや不良である。

令和7年8月20日作況：やや不良

事由：子実重は、830kg/10aで平年対比96%であった。千粒重および容積重は平年並であった。

以上により、現在の作況はやや不良である。

項目 \ 年次		品種名		
		きたほなみ		
		本年	平年	比較
播種期	(R6.月.日)	9.24	9.20	4
出芽期	(R6.月.日)	9.30	9.27	3
出穂期	(R7.月.日)	6.1	6.1	0
成熟期	(R7.月.日)	7.10	7.16	△ 6
冬損程度	(0:無～5:甚)	0.0	0.6	△ 0.6
草 丈	R6.10.20	13.2	19.1	△ 5.9
(cm)	R7.5.20	53.4	57.4	△ 4.0
	R7.6.20	96.6	100.1	△ 3.6
茎 数	R6.10.20	250	592	△ 342
(本/㎡)	越冬前(11月)	838	1249	△ 411
	越冬後(4月)	1055	1979	△ 924
	R7.5.20	928	1269	△ 342
	R7.6.20	561	849	△ 287
成熟期に	稈長 (cm)	84	89	△ 5
おける	穂長 (cm)	9.2	9.2	0.0
	穂数 (本/㎡)	554	810	△ 257
倒伏程度	(0:無～5:甚)	0.0	0.1	△ 0.1
子実重	(kg/10a)	830	864	△ 34
容積重	(g)	830	830	△ 0
千粒重	(g)	39.9	39.1	0.8
品質	(等級)		1等	
子実重平年対比 (%)		96	100	△ 4

注1) 播種粒数:200粒/㎡、施肥:基肥4kg/10a

追肥:起生期(翌年4月頃)硫安6kg/10a、止葉期(翌年5月頃)硫安4kg/10a。

前7か年中、令和5年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5か年平均(収穫年度)

5月20日、6月20日の草丈および茎数は令和2年を除く4か年平均。

注2) △は平年より早、短、少を表す。

注3) 倒伏程度:成熟期における倒伏程度。

注4) 容積重はブラウエル穀粒計により測定した値。

2. 春まき小麦

5月20日作況：やや不良

事由：本年の根雪終（融雪剤散布）は、平年より3日早い3月26日であった。播種期は平年より3日遅い4月18日、出芽期は平年より2日遅かった。4月下旬の気温は平年よりやや低く、5月以降の気温は平年よりやや高く推移した。5月20日現在で草丈は平年より短く、茎数は平年を下回っている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

6月20日作況：やや不良

事由：平均気温は5月下旬はほぼ平年並、6月は平年より高く推移した。出穂期は平年より2日遅かった。6月20日現在の草丈は平年よりやや長い、茎数は平年より少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日作況：平年並

事由：期間中の日照時間は平年を上回り、少雨で経過した。7月20日現在の稈長および穂長はほぼ平年並、穂数は平年より1～4%程度少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：やや良

事由：成熟期は平年より6日早く、登熟日数は平年より8日短くなった。子実重は平年比102～108%と平年を上回った。千粒重は平年より約3g軽く、容積重は平年よりやや軽い。子実の外観は粉状質粒が散見された。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名		春よ恋			はるきらり		
項目	年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.18	4.15	3	4.18	4.15	3
出芽期	(月.日)	4.30	4.28	2	5.01	4.29	2
出穂期	(月.日)	6.16	6.14	2	6.14	6.12	2
成熟期	(月.日)	7.23	7.29	△ 6	7.25	7.31	△ 6
草 丈	5月20日	21.4	22.3	△ 0.9	23.8	24.9	△ 1.1
(cm)	6月20日	85	81	4	89	82	7
茎 数	5月20日	364	698	△ 334	396	643	△ 247
(本/㎡)	6月20日	511	648	△ 137	533	632	△ 99
7月20日 稈長 (cm)		90	90	0	87	86	1
または 穂長 (cm)		8.7	8.6	0.1	7.9	7.8	0.1
成熟期の 穂数 (本/㎡)		420	437	△ 17	434	438	△ 4
子実重	(kg/10a)	517	480	37	562	552	10
千粒重	(g)	39.2	42.0	△ 2.8	43.4	46.5	△ 3.1
容積重	(g)	814	833	△ 19	818	835	△ 17
品質	(等級)	1			1		
子実重平年対比 (%)		108	100	8	102	100	2

注) 平年値: 前7か年中、令和5年(最凶)、令和6年(最豊)を除く5か年平均。

3. 大豆

6月20日 やや良

事由:播種期は平年並の5月19日であった。播種後平年並の気温があったことから出芽期は平年並の6月1日であった。その後、平年並の日照時間と高温であったことから主茎長は平年より高く、主茎節数はやや多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日 やや良

事由:6月中旬以降7月上旬までかなり高温多照に経過し、生育は進行した。開花期は平年より6日早い7月7日であった。主茎長は平年より長く、主茎節数および分枝数は平年よりやや多かった。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日 やや良

事由:主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年よりやや多く、分枝数は平年より多く、着莢数は平年比121%と上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名		トヨムスメ		
項目	年次	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.19	5.19	0
出芽期	(月.日)	6.1	6.1	0
開花期	(月.日)	7.07	7.13	△ 6
成熟期	(月.日)		9.30	
主茎長 (cm)	6月20日	16.1	11.7	4.4
	7月20日	54.6	46.6	8.0
	8月20日	56.0	52.6	3.4
	9月20日		52.1	
	成熟期		51.7	
主茎節数 (節)	6月20日	4.4	3.2	1.2
	7月20日	10.4	9.3	1.1
	8月20日	10.4	9.6	0.8
	9月20日		9.6	
	成熟期		9.4	
分枝数 (本/株)	7月20日	7.0	6.1	0.9
	8月20日	8.3	6.6	1.7
	9月20日		6.6	
	成熟期		6.6	
着莢数 (莢/株)	8月20日	96.8	80.1	16.7
	9月20日		71.9	
	成熟期		74.0	
一莢内粒数			1.85	
子実重 (kg/10a)			433	
百粒重 (g)			38.0	
屑粒率 (%)			2.1	
品質 (等級)			2中	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、令和6年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

6月20日作況：やや良

事由：播種期は平年並の5月22日であった。6月以降、やや高温に経過したことから、出芽期は平年より7日早い6月5日であった。主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年よりやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

7月20日作況：やや良

事由：高温に経過したことから、開花期は7月15日で平年より8日早かった。主茎長は平年よりやや長く、主茎節数および分枝数は平年より多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日作況：平年並

事由：高温に経過したことから、主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年より多く、分枝数はやや多い。着莢数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名		エリモ167		
項目	年次	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.22	5.22	0
出芽期	(月.日)	6.05	6.12	△ 7
開花期	(月.日)	7.15	7.23	△ 8
成熟期	(月.日)		9.10	
主茎長 (cm)	6月20日	5.0	4.4	0.6
	7月20日	21.6	19.8	1.8
	8月20日	64.6	55.1	9.5
	成熟期		59.1	
主茎節数 (節)	6月20日	2.4	1.8	0.6
	7月20日	11.3	8.0	3.3
	8月20日	17.4	14.7	2.7
	成熟期		14.2	
分枝数 (本/株)	7月20日	4.8	3.5	1.3
	8月20日	5.4	4.5	0.9
	成熟期		4.2	
着莢数 (莢/株)	8月20日	49.7	52.3	△ 2.6
	成熟期		45.8	
一莢内粒数			5.93	
子実重	(kg/10a)		305	
百粒重	(g)		13.8	
屑粒率	(%)		5.6	
品質	(等級)		3中	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、令和3年（最豊）、令和5年（最凶）を除く、5カ年平均。

5. ばれいしょ

5月20日作況：やや不良

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年より3日早い3月26日であった。植付期は平年より6日遅い5月2日であった。植付期以降の平均気温は平年よりやや高く推移した。5月20日現在、萌芽は始まっているが、萌芽期には達しておらず生育は平年よりやや遅れている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

6月20日作況：やや不良

事由：萌芽期は平年より2日遅い5月21日であった。気温は5月下旬はほぼ平年並、6月は平年より高く推移した。開花始は平年並の6月16日であった。6月20日現在の茎長は平年よりやや短く、茎数はやや少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

7月20日作況：やや不良

事由：6月下旬以降、高温少雨で経過した。7月10日頃から茎葉の黄化が始まっている。7月20日現在の茎長は平年よりやや短く、茎数はやや少ない。

以上により、現在の作況はやや不良である。

8月20日作況：不良

事由：期間を通じて高温で経過した。8月中旬以降、一部の茎葉で二次生長が生じている。8月20日現在、枯凋期には達していない。株当たりの上いも数は平年を下回り、上いも平均一個重は平年よりやや少ない。上いも重は平年を下回り、でん粉価は平年をやや下回った。

以上により、現在の作況は不良である。

項目 \ 年次		男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	5.02	4.26	6
萌芽期	(月.日)	5.21	5.19	2
開花始	(月.日)	6.16	6.16	0
枯凋期	(月.日)		8.24	
茎長	6月20日	30	34	△ 4
(cm)	7月20日	34	41	△ 7
茎数	6月20日	4.7	5.1	△ 0.4
(本/株)	7月20日	4.7	5.3	△ 0.6
8月20日における				
上いも数	(個/株)	11.6	13.2	△ 1.6
上いも平均一個重(g)		76	81	△ 5
上いも重	(kg/10a)	3939	4694	△ 755
でん粉価	(%)	14.3	15.4	△ 1.1
枯凋期における				
上いも数	(個/株)		13.5	
上いも平均一個重(g)			83	
上いも重	(kg/10a)		4861	
中以上いも重(kg/10a)			3907	
でん粉価	(%)		15.1	
上いも重平年対比 (%)			100	
中以上いも重 "	(%)		100	
でん粉価 "	(%)		100	

注) 平年値は前7か年中、平成30年(最凶)、令和5年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、枯凋期は二次生長が多発した令和3年も除く4か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。